

令和4年度 四国支所公開講演会「森と恋して・・・」 実施報告

四国支所では、研究成果等の広報・普及を目的として毎年公開講演会を開催しております。

今年度は、植物分類学及び現在の森林研究、絶滅の危機に瀕した植物を保全するための取り組み等を紹介しました。

コロナ禍の中、事前申し込み制並びに感染対策を講じながら、令和元年度以来の参集開催となりましたが多数のご来場をいただきました。

1. 講演次第

「牧野富太郎が歩いた高知」

藤川 和美（高知県立牧野植物園）

「高知県レッドデータブック植物編の改訂について」

前田 綾子（高知県立牧野植物園）

「和田豊洲博士の植物標本コレクションとそれに含まれる希少種について」

佐藤 重穂・伊藤 武治（森林総合研究所四国支所）

「絶滅危惧種保全の取り組みと課題」

河原 孝行（森林総合研究所フェロー；日本森林技術協会）

「木を伐って、残して守る日本の生き物」

山浦 悠一（森林総合研究所四国支所）

2. 開催日 令和4年11月26日（土）

3. 開催場所 高知会館（高知市）

4. 参加人数 55名

